

協働事業に関する企画書

団体名 さやまっちガーデナー

1 事業名	ガーデニングを活かした花のまちづくり事業
2 事業の詳細	①花や緑豊かなまちづくりを進めるネットワークづくり *オープンガーデンなどの管理応援。関連団体との交流。 花と緑の銀行(仮称)の設置など。 ②花や緑を活かしたまちづくりの推進と啓発・支援 *オープンガーデンとコミュニティガーデンのマップ作成。 ③特定外来植物の駆除 *ヘラオバコなどの外来植物の駆除活動。 ④ 会員相互の情報交換、親睦促進 *オープンガーデンなどの見学会、花の開花状況の発信 ⑤ その他、本会の目的に沿った事業
3 実施体制	さやま市民大学の平成26年度まちのガーデナー養成学科 修了生を中心に立ち上げた「さやまっちガーデナー」の事業として実施する。 会長 関谷道雄 副会長 末吉 隆 川村美紗子 神津悦子 会計 川窪和夫 書記 今坂優代 監事 山崎 晃 会員数 25名
4 役割分担	【提案団体の役割】 ①花のまちづくり事業の企画立案と実施。 ②関連団体と連携して「花のまちづくり」を推進する市民意識の高揚と機運を醸成する。 ③花に関連する、観光事業や園芸産業の促進。 【市の役割】 ①市や県などの関連課との連携に向けた調整。 ②市内の関連団体の紹介や連携に向けた支援 ③事業のPRと活動支援。 ④ 補助金等による支援。
5 協働の効果	「花のまちづくり」事業の推進は、広く市民の理解と協力が必要である。本事業が行政との協働によって進められていることで、市民の理解を得ることに弾みが付く。特に、コミュニティガーデンの整備は、公共の空間を利用するので行政の協力は不可欠である。また、本事業は、花を市内に広めるだけでなく、観光行政や園芸産業の振興、コミュニティ活動の推進と活性化などにもつながり、協働の効果は大きいと考える。
6 事業のアピールポイント	①花と緑による潤いのある街の景観をつくりだす。 ②広く市民がこの活動や事業に関わることで、おもてなしの心や優しい心の醸成が図れる。 ③幅広い市民が参加し、地域コミュニティの場が創出できる。 ④花のあるまちづくりを進めることで、観光行政や園芸産業の振興、遊休農地の活用や雇用の創出につなげることができ ⑤ 狭山市民大学「まちのガーデナー養成講座」で得た知識や技術を活かす場づくりになる。